事例No.	2179
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	北海道岩見沢市

事例区分	DX

タグ	・ICT

事例種類	ローカル５G

事例内容・タイトル

ローカル５Gを活用した自動トラクター等の農機の遠隔監視制御による自動運転等の実現

出典

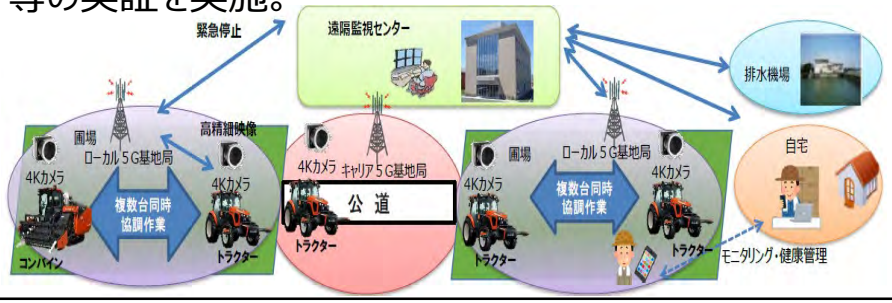
地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

199 ローカル5Gを活用した自動トラクター等の農機の遠隔監視制御による自動運転等の実現【北海道岩見沢市】

事業の概要

○ 農業の持続可能性を確保するためには、生産性向上や収益性向上、稼働負担減少による営農環境の改善が必要であり、AI、IoT等の技術を活用した「スマート農業」の社会実装を早急に実現する必要がある。

○ そこで、ローカル5G等の無線通信システムを活用し、
①自動運転トラクター等の遠隔監視下の無人自動走行（複数台での同時走行、圃場間での公道走行等）
②各種センサーから取得される生育データ等のビッグデータ収集・解析（最適な農業計画策定等）
③複数の既存インフラと組み合わせたネットワーク利活用
（各種センサーやカメラ等を用いた排水路監視等）
等の実証を実施。



【参考情報①】 人口：7.9万人
実施地域：北海道岩見沢市
コンソーシアム：東日本電信電話㈱、岩見沢市、北海道大学、㈱スマートリンク北海道、㈱クボタ、㈱日立ソリューションズ、㈱NTTドコモ、㈱はまなすインフォメーション、いわみざわ農業協同組合、いわみざわ地域ICT農業利活用研究会、日本電信電話㈱、市内実証協力生産者

【参考情報②】令和2年度「地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」事業（総務省）とは
URL：https://go5g.go.jp/carrier/l5g/
令和2年度「スマート農業実証プロジェクト」（農林水産省）とは
URL：https://www.maff.go.jp/hokkaido/suishin/smart/index.html

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー


取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）


（岩見沢市）

農業従事者の減少や高齢化が進む岩見沢市では、収穫物の高位平準化による所得向上をはじめ、省力化や作付面積拡大への対応などが地域課題として挙がっていました。

これらを解決するために、ローカル5Gを活用して、少ない稼働で生産規模の維持・拡大を可能とする高効率的な営農作業を目指した「スマート農業」の実証に取組みました。


導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？


本事業は、総務省の令和2年度「地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」事業、農林水産省の令和2年度「スマート農業実証プロジェクト」を活用して実施しました。


これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。


スマート農業の具現化、事業モデルの早期実現は、農業就業人口の減少など農業の持続性における課題解決の有効な手段であると考えます。

更に働き方改革とは無縁であった農業生産者の労働改善が見込まれることの意義が大きく、重労働で労働時間が長く収入が低いというイメージから未来技術を活用することにより、就農する若者が増えることも期待されます。

★担当：岩見沢市情報政策部 情報政策課★

令和3年度事業費　4,785千円